

国立病院機構の物品調達業務の評価（案）の概要

1. 事業概要

事業内容：国立病院機構の各病院共通の消耗品等のうち、事務消耗品及び衛生材料を対象とし、継続的に競争性を確保しうる複数者落札カタログ方式（通信販売方式）を用いた物品調達業務

実施期間：平成 25 年 11 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 1 年 5 ヶ月間

応札者数：4 者

2. 事業実施に関する評価

○ 確保されるべき質として設定された以下の項目を全て達成している。

- （1）各病院が商品を検索しやすい構成とするとともに、発注しやすいカタログを作成すること。
- （2）機構に有益となる商品価格を設定すること。
- （3）商品を遅滞なく配送すること
- （4）商品の脱落及び破損を防ぐ措置をとるなど受託事業者の責めに帰する商品の返品を少なくすること。
- （5）各病院からの問い合わせに迅速に対応すること。
- （6）各病院が確認しやすいように調達実績を報告すること。

○ 創意工夫に関しても、民間事業者から配送に関して 3 社とも 1 回の発注金額にかかわらず配送料無料、商品の返送料については 2 社から無料との提案がなされ、配送コストの削減を図り、良好に業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

本事業の実施経費については、同品目を同数量購入した条件下で購入金額を比較したところ、本事業に参加している病院の購入金額は、市場化テスト実施前の購入金額と比べ、77,858 千円（31.5%）の経費が削減され、また、本事業に参加していない病院の購入金額と比べ、約 51,117 千円（税込）（約 22%）の経費が削減されている。

4. 今後の事業

本事業は実施状況が良好であり、実施経費についても削減がなされており、平成 27 年 4 月からの次期事業（3 期目）においては、事業に参加する施設を 119 施設に増やし、更なる価格低減効果が期待できるものとしている。よって、本事業は「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会）Ⅱ. 1.（1）の基準を満たしているため、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。